



発行所
カトリック福江教会
広報委員会
五島市末広町 3-6
☎ 0959 (72) 3957
●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

復活から

主任司祭 中村 満

復活とは何かと問うことは、カトリックの信仰の本質について問うことと同一であると考えている。そもそもカトリックの信仰はキリストの復活から始まったと言える。なぜなら、イエス様と一緒に福音宣教に励み、三年間寝食を共にした十二使徒たちでさえイエス様の磔刑には立ち会わなかったし、リーダーのペトロは「捕えられたキリストの弟子ではないか」との問いに、違うと返答した。ヨハネ福音書によれば、逃げ散った弟子たちの中で十字架の傍にいたのはヨハネだけだと記されている。弟子たちは磔刑の場面までは、イエス様が誰であるかということを確認に理解していなかったと言える。しかし、使徒言行録によれば、聖霊の降臨を体験した弟子たちを代表して

私たちは皆、そのことの証人です」と証言しています。四福音書が記すように復活の朝、弟子たちは復活したイエス様との出会いを体験することによって、初めてイエス様が誰なのかを理解し悟ったと言える。こう考えると復活という出来事こそがイエス様への信仰の端緒であり、原点であるといえる。弟子たちは復活を体験して初めて、イエス様の全貌をとらえ、その生涯、中でも、その受難と死と復活についての完全な理解に到達できたと言える。復活の出来事は、イエスはキリストである、即ち、待ち望まれていた救い主であるとの結論を弟子たちにもたらした。

「復活」と日本語に訳している原語のギリシア語は、エゲイロー（起き上がるの意）、アニースタミー（アニースタシス（立ち上がるの意）で、これらを文脈に照らして「復活」と訳出している。訳ということとは、復活とはどういうことかの内容を把握することが重要だと言える。復活について最も分かりやすく、復活の本質を説いているのは、ルカ24章の記述と思う。復活の朝、婦人たちが香料を持って墓に行くが、墓にはイエス様の体はなかった。そこに二人の神の使いが現れ「なぜ、あなたがたは、生きている方を死人の中に捜すのですか。その方はここにはおられません。復活なさったのです」と告げている。また、続くエマオへの旅人の話では、「み使いの幻が彼女たちに現れて『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。」と一緒に同行しているイエス様に二人の弟子は答えている。十字架刑になり埋葬されたイエス様は死を克服して生きている。死を超越した完全な体、完全な命で生きている。「生きている」が、復活の本質である。ルカは伝えている。この洞察によって、イエス様は今も神と共に生き、私たちと共にある。だから、今も救い主として働き、その愛も赦しも、その業も、現実のものとして私たちの目の前にあるとの結論に達した。それ

故、神の使いは、「イエスは生きています」、「復活なさった」と告げ、時を越えて今も救い主として働いておられることを伝えたのである。

うっせえわ

助任司祭 稲田祐馬

「うっせえわ」（歌 ado / 詩曲 syndon）という曲が昨年大ヒットした。サビで「はあ？うっせえわうっせえわうっせえわ」と歌うあの曲である。多分みなさんも耳にしたことがあるかもしれない。福江の商店街でも、もしかしたら流れていたかもしれない（着任当初、福江の商店街で最新の流行の曲が流されていることに驚いた。当時は「香水」が流れていた。）

この曲は子どもたちにもウケたが、母親たちは眉をひそめたそう。それはそうだろう、宿題しなさいという母親の呼びかけに、「うっせえわ」と歌われ返されたら頭にくる。そう歌うおまえがうっせえわという感じである。

さて、この曲、わたしは聴くたびに変な感じになるのだ。歌手の ado は、こういった曲を「悪意を悪意のまま表現したもの」と語っている

が、聞きにくさはそこにあるのだろう。しかしこの歌を「けしからん！」と切って捨てられないのは、これが他者を「傷つけるためだけの歌」ではなくて、他者に「傷つけられた者の歌」として聴けるからかもしれない。過剰なまでに尖った言葉遣いの裏に、傷つけられボロボロになっている姿が浮かんでくるのである。18歳のシンガーであるBIOは、転機となった曲に、「クライ・クライ・ジガビダイ！」という曲を挙げていて、これには「アア！愛されたい！愛されたい！」という歌詞が出てくる。「うっせえわ！」と「愛されたい！」という気持ちは表裏一体、そのようにも思えてくる。もっとわかってほしい！という心の叫びである。

そう思いめぐらしているとふと、「いいんだよ」という言葉が頭に浮かぶ。夜回り先生こと、水谷修先生のことばである。「おれ、窃盗やってた」「いいんだよ」、「わたし援助交際やってた」「いいんだよ」——「おれ、死にたい」「でも、それだけはダメだよ。まずは今日から、水谷と一緒に考えよう」。否定ばかりされ、傷ついていた少年少女の心に夜回り先生の温かな「いいんだよ」が染み込んでいく。そしてこれをきくとそう、愛と呼ぶのだ。少年少女はこの愛によって癒され、再び立ち上がり

されていく。

ヨハネ福音書の8章に姦通の現場で捕らえられた女の話がある。「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい」という箇所だ。「婦人よ、あの人はちはどこに居るのか。だれもあなたを罪に定めなかったのか」女が、『主よ、だれも』と言うと、イエスは言われた。『わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない。』

わたしたちは祈りのとき、ゆるしの秘跡のとき、主からの「いいんだよ」がある。存在の奥底から満たしてくる、「いいんだよ」である。そこから力を汲んで、わたしたちは傷つけてしまった人におわびをしなから、また主とともに歩んでいくのである。もっとわかってほしい！という思いを、主ならずすべてわかってくださるのだ。

カテキスタ 紹介 2021



新しく4年生を担当するSr. 戸村

1年生をシスター永瀬、2年生をシスター山崎、3年生をシスター永

新司祭着任!



福江教会に新しい神父様が着任されました。名前は西田祐尚（じだまきなり）

神父様です。今年三月に司祭叙階されたばかりのピカピカの神父様です。福江には、趣味の釣りも兼ねて訪れたことがあるとのこと。今後は司牧の合間に存分に？釣りに行かれることと思いますので、釣りをされる方はよろしく願います！

着任早々に県独自の緊急事態が宣

田、4年生をシスター戸村、5年生を西田神父様、6年生を稲田神父様が担当します。昨年はコロナのため授業をお休みしなければならぬことが多く、一回一回の授業がいつもより大切な時間となりました。地球規模で同じ問題に取り組み現代は、子どもたちへの地球家族の教育にとっては有意義な機会となりました。

今年度も開催回数が増え制限されていますが、神父様方や信仰教育委員の方々と協力しながら安全に配慮して、子どもたちの信仰教育に奉仕できたらと思います。保護者の方や教会の信徒の皆さま、どうぞ協力とご指導をよろしくお願い致します。

言されるなどで、ミサが自由に行われない状況もあり信徒との関りが持ちにくい中ですが、少しづつ神父様の事を知っていきたくので恒例のアンケートを行いました。マスクの下のお顔もあわせて皆さんご覧になって下さい！

◆西田神父様ってどんな人？

- ① 霊名は？ ……パドアのアントニオ
- ② 叙階された年月日は？ ……二〇二一年三月二一日
- ③ 出身教会は？ ……鮑（あわ）の浦教会
- ④ 生年月日は？ ……一九九二年四月二一日
- ⑤ 好きな食べ物？ ……刺身、焼肉
- ⑥ 嫌いな食べ物？ ……特になし
- ⑦ 趣味、特技は？ ……趣味：魚釣り、特技：ドラム（が少しだけできます）
- ⑧ 自分で思う長所は？ ……皆さんはどう思いますか？
- ⑨ 自分で思う短所は？ ……同時に二つのことが出来ない。
- ⑩ 神父になるうと思っただきうかけは？ ……小四ぐらいの時、助任司祭（鮑の浦）の司祭としての姿に憧れたから。
- ⑪ 福江教会在任中にやりたい事、抱負など…キリスト奉仕職、精一杯果たせるよう頑張ります。未熟者ですがよろしくお願い致します。

六月は

「イエスのみ心の月」



れています。そんな私たちと関係の深い「イエスのみ心」とは何なのか、その歴史と意味について調べてみました。

「イエスのみ心」の始まり

教会では毎年六月を「イエスのみ心の月」としています。今年も六月六日が「キリストの聖体」の祭日で、この週の金曜日である六月十一日が「イエスのみ心」の祭日となっています。みなさんご存じの通り、福江教会の正式名称は「イエズスの聖心(みこころ)」であり、祭壇の最上部には心臓を指し示したイエス様の御絵が掲げら

れています。そんな私たちと関係の深い「イエスのみ心」とは何なのか、その歴史と意味について調べてみました。

象徴する炎が出、イエスを傷つける人々の罪を象徴する茨の冠が心臓に絡みついていた。そしてマルガリタはイエス様の次の言葉を聞いたそうです。

「この心を見なさい。これは、人間を非常に愛し、人々にその愛を示すために、涸れ果てるまで何一つ惜しまなかったものなのに、多くの人々から、その報いに、特に聖体の秘跡において、忘恩、不敬、さらには冒瀆、冷淡、無関心しか受けていない。最も辛いのは、私に献身した人々も、そうした態度を取っていることである。」イエス様は、愛情に燃えるみ心を示して、人々の間に存在する冷淡な心を嘆かれたのです。

その後イエスさまは、「聖体の祭日の翌週の金曜日に、聖体において受けた全ての辱めを償うために祝日を設け、その日に償いの心をもって聖体を拝領すること」をお命じになりました。このお告げによって、み心の信心の内容と形式が定められたのが「イエスのみ心」の祭日です。また、イエス様は他の出現の際に、九か月続けて月の最初の金曜日に、償いの意図で聖体を拝領する者に、特別な恵みを与えることを約束されました。今も行われている、初金曜日の信心の習慣はここから生まれたものです。

み心の信心

私たちは、「イエスのみ心」をどう感じ、受け止めるべきなのでしょう。イエス様が受難の時、わき腹を槍で貫かれ、命を投げ出してでも伝えたかった人間に対する愛の心。その心が受け止められていないばかりか、軽んじられている。ミサに与り、御聖体を拝領しているその時に、イエス様の愛を充分に受け止めているだろうか。イエス様が私たちのために受けたあの受難を経てたどり着いた永遠の命を信じ、神は私たちをいつも愛して下さり、そしていつも共にいると感じられているだろうか。

悔い改め、償いの気持ちをもってご聖体を受ける事、イエスのみ心で表される神の愛を思い起こし、その無限の愛のしるしであるみ心をたたえる事：本当は六月だけではなく、常にその様な気持でなければと気づかされます。でも、弱い私たちはすぐにイエスのみ心を軽んじてしまいがちです。

聖体拝領の時、上を見上げて「イエスのみ心」の御絵を見てみましょう。イエスのみ心の限りない愛を感じ、その愛に対してできる限りこたえていけるように。まずその勇氣を持ちたいと思います。



「イエズスのみ心」の御絵 (大石七鳳氏作)

結びつけることによってイエスのみ心への特別な信心が生まれるようになったようです。イエスのみ心への信心が更に盛り上がるきっかけとなったのは、聖母訪問会の修道女、聖マルガリタ・マリア・アラコクが受けた霊的な体験でした。この修道女は一六七三年から一六七五年にかけて数回主イエスの出現を体験しており、一六七五年の出現ではイエスの胸に心臓が見えるようになり、その開いた傷からは、愛を

新旧班長会議

四月十八日(日)の二番ミサ後に新旧班長会議が行われた。各地区の班長の役割は大変重要である。主要業務としては、①教区維持費・大司教区費や臨時的な献金などの集金、②教区・小教区広報紙などの配布、③教会掃除当番の周知・徹底、④献金奉納当番、⑤信徒死亡時等の際の班員への連絡などがある。

地区による信徒の数のバラツキはもちろんのこと、年齢構成にも差異があり、高齢の方が多い班は特定の信徒が班長を行っている実態もある。また、信徒同志の交流が少なく(コロナ禍も追い打ちをかけている)班長や役員を引き受ける方が少なくなっている。

厳しい実情も多いが、今年班長を務める方々には是非とも頑張ってください。また、教会の行事や活動にも一つでも参加頂き、役員の方々や



他の信徒との交流もして頂きたい。また、他の信徒の方々は新班長さんへの感謝やサポートを是非おねがいします!

金神父様

ありがとうございます!



ヨセフ金ボム神父様が、三年間の福江教会での司牧を終えて佐世保市の天神

教会に主任司祭として転任された。去る四月十一日(日)二番ミサ後に、送別式が行われ、信徒代表よりお別れの言葉と花束、餞別が送られた。

金神父様、司祭叙階後初めての赴任地で慣れない事も沢山あったでしょう。流暢な日本語で笑いも交えた説教や、国柄の違いをテーマに取り入れた興味深いお話を沢山聞かせて頂き、本当に有難うございました! 「福江教会での三年間はいろいろな

事がありました。楽しい事もだけど、失敗も沢山したし、恥ずかしい事もした。一年目はけっこう頑張りました。二年目は力が抜けた。三年目はもっと力が抜けた。なかなか体も動かなくて、体重が増えました(笑)。経験や失敗を上手に司牧生活に活かしていきたい。福江教会の人達にとって、外国の人が神父で来たのは忘れないんじゃないかなと思います。コロナが落ちて行けるようになつたら、天神教会にも来てください。両手を広げて歓迎します。」(赴任後に金神父様からお手紙が届きました)

カトリック福江教会共同体の皆様へ皆様のおかげで無事にカトリック天神教会に着任しましたヨセフキムボムです。手紙でお礼の言葉をお伝えします。今までのお祈り、ご応援ありがとうございました。

最初天神教会に着任した時、何がどこにあるのか、何をすればいいのかが、まったく分からなくて今でもとまどっています。馴染んでいく所から、新しいところに行くというものがそういうものかと感じさせられました。また、今まで共同生活をしてみました。一人暮らしをすることで心配もしています。どうやらその心配は私一人だけでなく、いろんな方がして下さっていると感じます。食事はちゃんとしているのか、ラーメンや揚げばかり食べているのではないかなど、私のことを知っている方はどのように心配しているといます。でもちゃんと食べていますし、バランス良く食事をしようと思がけています。

福江教会での思い出、経験などを、これからの司牧生活に生かして行きたいと思えます。私の赴任地である福江教会と皆様のこととはたぶん(?)忘れません。これからもどうぞお祈りとお応援をよろしく願っています。一人一人の方々に手紙を書けないことをお詫びしながら、コロナに気をつけて元気で信仰生活をするようにここで祈ります。今までお世話になりました。ありがとうございます。

2021.4.23

ヨセフ キムボム

令和3年度 班長名簿			
地区	班	氏名	世帯数
番町北	1班	真鳥 松平	16
	2班	小田 健二	17
	3班	大川 雅己	13
	4班	平山 和秀	13
	5班	赤窄 雄	17
	6班	馬津川 巖	14
番町南	1班	赤窄 久登	15
	2班	佐々木 守	15
	3班	中木 重好	13
	4班	本村 信雄	9
	5班	才津 繁己	13
	6班	小田 豊宏	11
	7班	桑村 秋広	13
	8班	浜 直	13
町地区	1班	中村 浩三	9
	2班	谷口 勝矢	11
	3班	赤尾 弘樹	12
	4班	竹内 義弘	6
	5班	原塚 洋光	6
	6班	竹口 教	8
	7班	赤窄 純治	15
水主町	1班	堤 良子	7
	2班	川端 たけ	11
	3班	赤尾 輝幸	8
	4班	堤 良子	8
	5班	八田 ヒトミ	11
松山	1班	外輪津代子	11
	2班	富上 清吉	12
	3班	石山 勲	12
	4班	濱口 義行	17
	5班	村田 好延	10
	6班	出口 康士	12
	7班	梅木 裕太	18
	8班	山見 隆幸	19